

がくどうほいく ふなばし

5 市連協だより
船橋市学童保育連絡協議会
(Tel/Fax) 047-433-9266

2004.1.17(土)発行
(住所) 船橋市南本町31-5
(ホームページ) homepage2.nifty.com/fghrk/

350余人が参加！！

「ランドセルゆれて」上映会開催

11月29日、勤労市民センターで映画「ランドセルゆれて」の上映会が行われ、約350人が参加。指導員役の清水由紀子さんの暖かい雰囲気、子ども達がみせる表情、そして子どもと親と指導員が一つになって子育てに取り組むシーンに、会場はたくさんの感動と涙で包まれました。

多くの感想が寄せられました。その中から一部ご紹介します。

上の子が小さい子達の面倒をみたり、かばったり、励ましたり、そんな風に子ども達が成長するのだと改めて思いました。また、父母との交流、理解があって、はじめて学童が良くなっていくのだと思いました。

さわやかな映画だった。子供は人との係わりの中で育つ。このことは大人も同じ。

指導員になりたいと思っています。この映画を観て、ひとりひとりの子供の人生と一緒に背負ってあげられ、子供と接する中で自分自身も成長できる指導員になりたいと思いました。

来年4月から、長女が新1年生になり、母子家庭で実家も遠く、学童のお世話になります。親に言えないことも学童の先生になら言える、大人の人に話を聞いてもらえる、学童には学ぶこともたくさんあり、学童をとおして成長してくれたらと思います。

児童育成課との懇談（11/27、12/19）で

増設の検討が明らかに

船橋市学童保育連絡協議会は、2003年度の要望事項に対する文書回答（8月26日）を踏まえて、11月27日、市連協役員と父母約15名が、また12月19日は市連協役員が参加し、児童育成課との懇談を行いました。

以下、懇談の主な内容をお知らせします。

1、十数か所の増設を検討

放課後ルームの増設問題では、最終的には十数カ所の増設が必要であり、まず来年度は、数カ所検討されていることが明らかになりました。

どのルームが増設されるのか、第2ルームとして設置されるかなど詳細はわかりませんが、市が計画的な増設の方向に踏み出したことは、この間の待機児童をなくす市連協と多くの父母の粘り強い運動の成果です。

2、4年生以上の入所を強く要望

4年生以上の入所問題では、市連協と父母の取り組みや厚生労働省からの受入れ促進の状況もあり、「長期休暇中の入所は検討してみたい」、「今後増設するときは4年生以上も入所できる点を考慮したい」と前向きな回答が出されています。

『3年生まで』という条例の改正に加え、『当面、4年生も定員の120%までの入所対象にすること』、『せめて春休みまで継続入所を』等を強く要望しました。

3、早期に法典西ルームの移転を

法典西ルームの学校内への移転問題では、「移転をあきらめたわけではないが、来年度予算にのせることは難しい状況」との説明がありました。

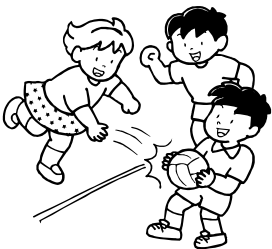
学校から歩いて20分もかかる現在のルームは、『通いたくても通えない』厳しい現状で、1,356名もの賛同が得られた署名の結果からも、早期移転は、父母・地域の皆さんの強い要望です。

『一日も早い学校内移転』と同時に、当面、『子供達の送迎のための指導員の増員』、『学校での一時待機の場所の確保』など緊急の対策を求めました。

4、時間延長にふさわしい体制作りを

開設時間の延長問題では、父母の要望を踏まえた時間延長に感謝すると同時に、指導員の増員などをしなければ、『不審者、事故等非常時の安全面に不安』、『保育内容の低下が懸念』されるため、十分な体制をとるよう要望しました。

市側からは、「一人勤務にしない方向」、「保育内容は低下させない」、「労働組合と話し合っていく」との回答があり、『40人に指導員3人の基本方針』を守ることと合わせて体制の確保を強く求めました。



この他、「非常時の対策として、2階にルームがある二和・船橋・三山東・金杉などは順次非常口を作る」、「今後2階に作る場合は非常階段を設置する」、「親子行事を認めていないルームには市から再度徹底する」など改善が図られました。今後とも、市連協と父母会が協力し、未解決の問題にあわせ、ルーム増設にあたっての設備等の改善など運動を進めていきましょう。

父母会の動き

親子で100名が参加！

～宮本放課後ルーム～



楽しかったクリスマス会

12月6日(土)、親子で100人以上が参加してのクリスマス会が、ルーム主催の初めての親子行事として開催されました。昨年は、記念館を使って父母会主催で行った行事でしたが、今年から指導員の先生方も一緒にルームのお部屋を使って開催できるようになりました。

せっかくの機会なので、「親としても何かできないかなあ」ということで、当日、ぶっつけ本番ではありましたが、参加した親たちで学年ごとに出し物の発表を行いました。

1年「あわてんぼうのサンタクロースの合奏」、2年「ハンドベル」、3年「『サンタが町ににやってくる』のペープサート」で親もがんばりました。

子供たちの発表や親子ゲーム、おやつタイムありでとても楽しい会になりました。

また、こんな機会が持てたら、と思います。



2月1日(日) 船橋市勤労市民センターにて 「輝け！船橋の子どもたち」へご参加を

子育て・教育を語り合う船橋市民のつどいである「輝け船橋の子どもたち」が2月1日(日)勤労市民センターで開催されます。当日は、埼玉大講師の岩川直樹氏による講演「いま、子どもたちに育てたいもの ～『ことば』がはぐくむ豊かな人格～」と放課後ルーム問題など多くの分科会があります。

ぜひご参加ください。(資料代700円)